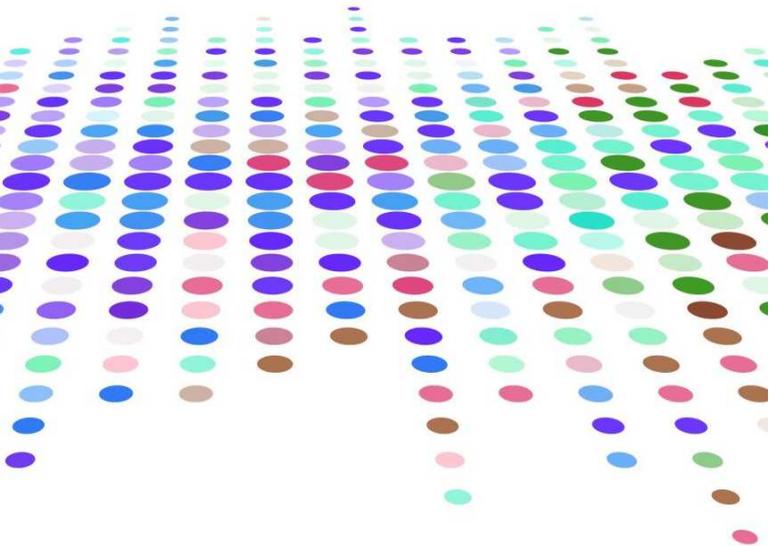


# 第1回コミュニティス クール検討会 概要



# 主な議論

「学校運営参画」とは何か

学校運営参画の実情

参画をどう進めていくのか

# 「学校運営参画」とはなにか

「参画」と「参加」の違いは何か

地域住民が学校運営に参画する意味とは

## 「学校運営参画」とは何か

- 「ただそこに地域の方が一緒にいる」状態を『参加』と呼ぶなら、『参画』は「より主体的な関わり、自分事感がより強い意味合い」と捉えている。

## 「学校運営参画」 とは何か

- 地域連携が機能しているときには、地域の方から子どもたちへのプラスのフィードバックがある。このフィードバックが子どもたちの自己有用感を伴った自尊感情を高める。

## 「学校運営参画」 とは何か

- 学校と地域を繋ぐいわゆるコーディネート機能が、とても大切。飯田市のコミュニティスクールの考え方は、「良い地域が良い学校をつくる」「良い学校が良い地域をつくる」といった好循環をつくっていくことがコミュニティスクールの大きな可能性ではないか。

# 「学校運営参画」の実情

地域住民にどの領域まで参画いただくか

学校側の学校運営参画に対する不安感・負担感とは

## 「学校運営参画」 の実情

- PTAとして参画をしたいと願ったとき、学校側は、そこまで求めていないということは正直ある。温度感のギャップは感じる。

## 「学校運営参画」 の実情

- 地域の方々に学校のどの部分に参画いただき、意見をいただくかは難しさがある

## 「学校運営参画」 の実情

- 分からないと不安だということが  
たくさんある。それが負担になるこ  
とが非常に多い。

「参画」をどう進めていくのか

「参画」なのか「参加」なのか

## 「参画」をどう 進めていくか

- 大切なのは校長先生の経営ビジョン。校長先生がこういう学校をつくりたいというように夢を語っていただけると関わる大人、学校の先生方、みんなでその目標に向かって進める。

## 「参画」をどう 進めていくか

- 信州型から国型に変えたことによって、校長先生のマネジメント力が高まり、教職員や地域住民が納得する経営ビジョンを提示できるようになってきた。

## 「参画」をどう 進めていくか

- 地域も学校も家庭もそれぞれ違う価値観をもっている。まずはビジョンを共有する場をつくり、議論をし、地域も変わるし、学校も変わる。その両者が変わることが子どもの教育を充実させていく。

「参画」をどう  
進めていくか

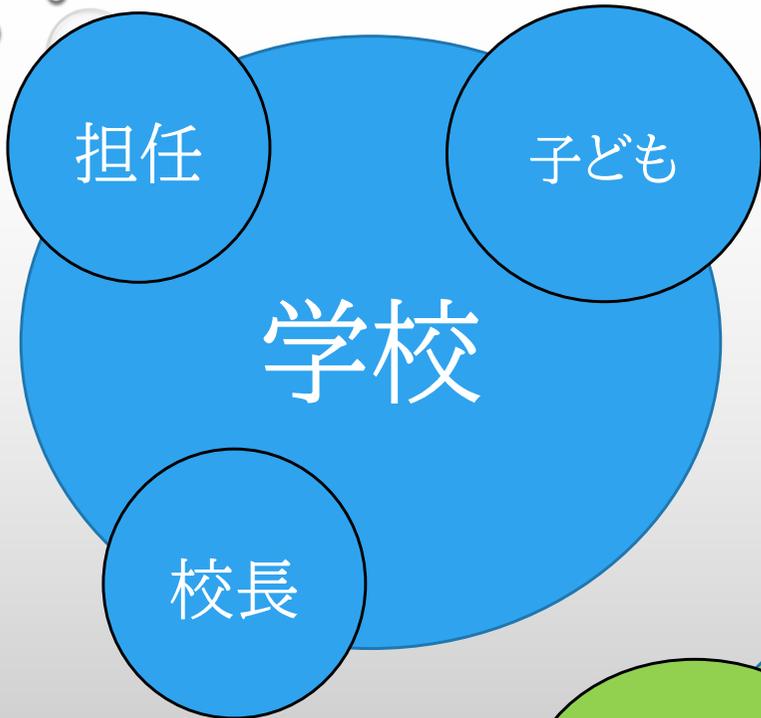
- スタートは「参加」。だんだんと階段を上がっていくように「参画」の方向に進んでいくのではないか。

## 「参画」をどう 進めていくか

- 次年度の学校づくり、学校経営のビジョンを校長先生と協議する時に、学校の悩みに応じたビジョン作りの場に参加するようになること、これが「参加」ではなく「参画」になると思う。

## 「参画」をどう 進めていくか

- 地域や産業界といった側が、子どもとの学びの中で起こっている変化を目にする。さまざまなステークホルダーがリアルにどう感じてどう変化が起こってきたのかということをお伝えしたい。



## 課題感

「学校運営参画」は「だれに」  
にとって「どんな意味」がある  
のか

「学校運営参画」に対する分か  
らなさからくる不安感